



一社) 研究基盤協議会

- 概要 -

一般社団法人 研究基盤協議会 理事・副会長
岡 征子

沿 革

研究基盤協議会設立の背景

日本の研究力の向上が喫緊の課題となる中、その原動力となる「研究基盤」の重要性が議論されてきた。

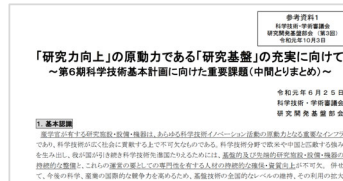
文部科学省の審議会においては、「我が国が引き続き科学技術先進国たりえるためには、基盤的及び先端的研究施設・設備・機器の持続的な整備と、これらの運営の要としての専門性を有する人材の持続的な確保・資質向上が不可欠」と指摘。

内閣府において議論されてきた「地域中核・特色ある研究大学総合振興パッケージ」においても、全学的な国際水準の研究環境（専門人材配置、機器共用体制等）構築支援の必要性に言及。

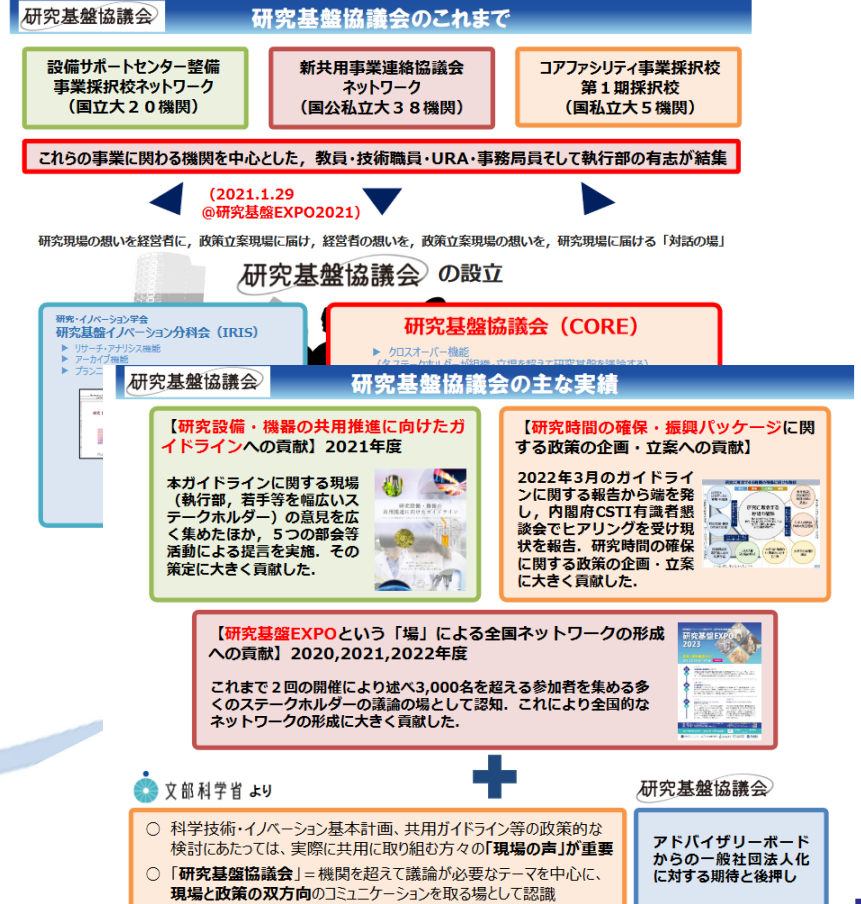
任意団体 研究基盤協議会（令和3年1月29日設立）

文部科学省の研究基盤共用に関する事業採択大学の有志を中心として国公立大その他関係機関を含む多様なステークホルダーが研究基盤を議論する新たな協議の場。

- 研究基盤に関する全国ネットワークの構築
- 研究基盤2[ME]の開催
- 文部科学省や内閣府への議論への貢献 など、実績を積む。



文部科学省研究開発基盤部会（第17回）配布資料より
https://www.mext.go.jp/content/20230131-mxt_kibanen01-000027480_1.pdf



沿 革

研究基盤協議会設立の背景

日本の研究力の向上が喫緊の課題となる中、その原動力となる「研究基盤」の重要性が議論されてきた。

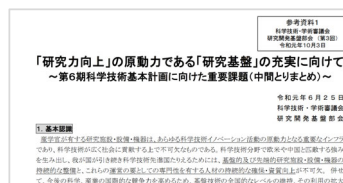
文部科学省の審議会においては、「我が国が引き続き科学技術先進国たりえるためには、基盤的及び先端的研究施設・設備・機器の持続的な整備と、これらの運営の要としての専門性を有する人材の持続的な確保・資質向上が不可欠」と指摘。

内閣府において議論されてきた「地域中核・特色ある研究大学総合振興パッケージ」においても、全学的な国際水準の研究環境（専門人材配置、機器共用体制等）構築支援の必要性に言及。

任意団体 研究基盤協議会（令和3年1月29日設立）

文部科学省の研究基盤共用に関する事業採択大学の有志を中心として国公私大その他関係機関を含む 多様なステークホルダーが研究基盤を議論する新たな協議の場。

- 研究基盤に関する全国ネットワークの構築
- 研究基盤2[ME]の開催
- 文部科学省や内閣府への議論への貢献 など、実績を積む。



一社）研究基盤協議会の設立

（令和5年1月31日）

研究基盤に関する知見を大学・研究機関・産業界・官庁など、我が国全体で蓄積・共有・展開することにより、自立したサステナブルな研究基盤エコシステム構築への貢献を目的とした活動を行う。

沿革・概要

HOME / 概要 / 沿革・概要

沿革

- 2021年1月29日 同日 研究基盤協議会プレイベント（幹事校：東京工業大学）
研究基盤協議会 設立
- 2022年1月27日 第1回 研究基盤協議会シンポジウム（幹事校：金沢大学）
- 2023年1月26日 第2回 研究基盤協議会シンポジウム（幹事校：山口大学）
- 2023年1月30日 **一般社団法人 研究基盤協議会 設立**

年	月	COREならびにIRISの沿革		COREならびにIRISに関連する文部科学省の主な事業とイベント情報		
		研究基盤協議会 (CORE)	研究・イノベーション学会 研究基盤イノベーション分科会 (IRIS)	先端研究基盤共用促進事業 コアファシリティ構築支援プログラム 【コアファシリティ】	先端研究基盤共用促進事業 新たな共用システム専任支援プログラム 【新共用】	設備サポートセンター整備事業 【設サポ】
2011	4					事業開始
2012						
2013						
2014						
2015	1					第1回シンポジウム（北大）
2016	1					第2回シンポジウム（鳥取大）
2016	4				事業開始	
2017	1					第3回シンポジウム（名工大）
2017	2					第4回シンポジウム（農工大）
2018	6					第1回新共用事業全国連絡協議会（熊本大）
2018	10					第2回新共用事業全国連絡協議会（高知大）
2019	1					第5回シンポジウム（岡山大）
2019	9					
2019	10					第3回新共用事業全国連絡協議会（金沢大）
2019	12		研究基盤イノベーション分科会設立			
2020	1		第1回研究基盤イノベーション分科会「研究基盤を研究し、イノベーションを起こす仕組みの構築へ」（宮崎）			第6回シンポジウム（宮崎大）
2020	4			事業開始		
2020	10					第4回新共用事業全国連絡協議会（北大、高知大、金沢大、名工大、東海大、海洋研究開発機構）
2021	1		研究基盤EXPO2021「研究基盤のための特別な一週間」 新共用事業連絡協議会 北海道大学GFC 国立大学法人総務・分析センター協議会 大学技術職員組織研究会 先端研究基盤共用促進事業 研究基盤イノベーション分科会 設備サポートセンター整備事業	先端研究基盤共用促進事業 シンポジウム2020	第5回新共用事業全国連絡協議会（北大）	第7回シンポジウム（富山大）
2021	5	研究基盤協議会 設立 アドバイザーボード、部会から、「研究設備・機器の共用推進に向けたガイドライン」策定に至るまでの調査・提言				
2022	1	第1回研究基盤協議会シンポジウム（WEB）	研究基盤EXPO 2022「研究基盤の新たな扉が開く3 days」 先端研究基盤共用促進事業 研究基盤イノベーション分科会 研究基盤協議会	先端研究基盤共用促進事業 シンポジウム2021		
2023	1	第2回研究基盤協議会シンポジウム（山口）	研究基盤EXPO 2023「共用と研究基盤の今！」 先端研究基盤共用促進事業 研究基盤協議会 TCカレッジ 研究基盤イノベーション分科会	先端研究基盤共用促進事業 シンポジウム2022		
2023	1	一般社団法人 研究基盤協議会 設立				

2024.1.25 第3回研究基盤協議会シンポジウム

具体的な活動内容

- ・「グローバル（グローバル）に活躍できる「研究基盤を最大限生かせる人財」の育成と社会への輩出
- ・「我が国の研究基盤に関するエビデンスを国と協力しながら調査・研究し共有できるデータプラットフォームの構築

研究環境改革を推進する産官学の連携をさらに強化するためのハブとして機能し、オールジャパンの体制作りと世界や地域をつなぐ場としての機能を果たしてまいります。



会員構成と役員

会員構成

〃〃〃〃〃〃現在

【団体正会員】地域順 〃〃〃〃〃〃

北海道大学、東北大学、群馬大学、東京工業大学、東京医科歯科大学、早稲田大学、金沢大学、長岡技術科学大学、東海大学、名古屋工業大学、大阪大学、大阪公立大学、岡山大学、広島大学、鳥取大学、山口大学、宮崎大学、琉球大学、沖縄科学技術大学院大学

【特別賛助会員】申請順 〃〃〃〃〃〃

株式会社島津製作所
日本電子株式会社
株式会社日立ハイテック

【準会員】正会員を除いて 〃〃〃〃〃〃

宇都宮大学、筑波大学、埼玉大学、千葉大学、慶應義塾大学、山梨大学、富山大学、静岡大学、浜松医科大学、東海国立大学機構、名古屋市立大学、京都大学、神戸大学、奈良先端科学技術大学院大学、徳島大学、香川大学、九州大学、佐賀大学、琉球大学、科学技術振興機構、旭化成株式会社

役員

代表理事・会長
理事・副会長
理事・副会長
理事・副会長
理事・会長特別補佐
理事・会長特別補佐
理事
理事
理事
理事
理事・事務局長
監事

江端 新吾
江龍 修
植草 茂樹
岡 征子
長谷川 浩
林 史夫
境 健太郎
佐々木 隆太
森本 稔
渡邊 政典
桒 飛雄真
佐柳 融

理事・名、監事・名

東京工業大学
名古屋工業大学 アドバイザリーボード
東京工業大学 広報委員会
北海道大学 企画委員会
金沢大学 政策提言検討委員会
群馬大学 総務委員会
宮崎大学 財務委員会
北海道大学 学術委員会
鳥取大学 「共創の場」委員会
山口大学 人材育成委員会
千葉大学 事務局
東京農業大学



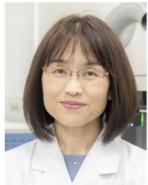
代表理事 江端 新吾
(会長, 東京工業大)



理事 江龍 修
(副会長, 名古屋工業大)



理事 植草 茂樹
(副会長, 公認会計士)



理事 岡 征子
(副会長, 北海道大)



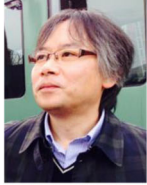
理事 林 史夫
(会長特別補佐, 群馬大)



理事 長谷川 浩
(会長特別補佐, 金沢大)



理事 佐々木 隆太
(北海道大)



理事 森本 稔
(鳥取大)



理事 境 健太郎
(宮崎大)



理事 渡邊 政典
(山口大)

教員(現場・執行部)・技術職員・URA・公認会計士・行政書士などから構成



本協議会が取り組む内容

本法人が取り組む事項

1. 会員相互の交流及び連携の促進
2. 研究設備・機器共用化を促進するための情報発信
3. 技術職員を対象とした研修
4. 研究設備・機器共有に関するコンサルティング
5. 受託調査及び研究
6. 研究環境整備に関する政策提言



【委員会の活動】 協議会が育む共創の場

「共創の場」委員会

委員長	森本 稔	(鳥取大学)	
委員	岡 征子	(北海道大学)	
委員	安東 真理子	(東北大学)	S%B % P :- % 共同代表
委員	稲角 直也	(大阪大学)	S%B % P :- % 共同代表
委員	勢理客 勝則	(琉球大学)	S%B % P :- % 共同代表
委員	横野 瑞希	(鳥取大学)	若手ネットワーク共同代表
委員	木戸 拓実	(旭化成株式会社)	若手ネットワーク共同代表

技術職員コンソーシアム (TAMARIBA)

全国の大学技術職員が集い“研究基盤”の戦略的活用と共用促進に貢献

若手ネットワーク

多様な若手ステークホルダーが“現場の声”を政策立案の場に届ける


本委員会は、これら二つの共創の場の自主的な運営をサポートしています。

研究基盤EXPO2024

一般社団法人
研究基盤協議会 共創の場 企画セッション

日程: 2024年1月26日(金)
会場: 沖縄県立博物館・美術館、オンライン(Zoom)
※現地会場は会場収容人数の都合上先着40名までとさせていただきます

申込: https://www.jcore2023.jp/application_expo2024/
(研究基盤EXPO2024共通、2023年12月1日~申込開始)



プログラム

13:30-15:00 技術職員が見える、技術力を魅せる
～技術人材活用戦略「技術スキルの見える化」を考える～
一般社団法人研究基盤協議会 技術職員コンソーシアム(TAMARIBA)
これまでの議論を踏まえ技術職員の「見える化」をテーマに、技術情報の集約による教育・研究促進、人材獲得など、技術人材活用戦略への可能性について議論します。

15:10-16:40 ONE TEAM 若手が考える研究支援体制
一般社団法人研究基盤協議会 若手ネットワーク
研究環境を現場から改善していくために、研究者と研究を支える専門人材同士で課題を共有し、若手の視点から研究基盤の強化及び今後の活動について議論します。

全国の大学技術職員が集い“研究基盤”の戦略的活用と共用促進に貢献する「技術職員コンソーシアム(TAMARIBA)」、多様な若手ステークホルダーが“現場の声”を政策立案の場に届ける「若手ネットワーク」。研究基盤協議会の「共創の場」を構成するこれら2つの組織が、それぞれの切り口で現場を取りまく課題、研究基盤の未来について議論します。是非ご参加ください。

一般社団法人 研究基盤協議会 TAMARIBA 一般社団法人研究基盤協議会 若手ネットワーク

【委員会の活動】 会員の皆様とともに政策提言を立案

政策提言検討委員会

委員長	長谷川 浩	(金沢大学)	
委員	植草 茂樹	(東京工業大学)	経営・財務小委員長
委員	佐々木 隆太	(北海道大学)	IR・共用システム小委員長
委員	渡邊 政典	(山口大学)	人材活用小委員長
委員	境 健太郎	(宮崎大学)	地方・地域小委員長
委員	岡 征子	(北海道大学)	データ分析小委員長

本委員会では、大学や研究機関における共用研究設備・機器やその他の研究リソースの運用・運営について、文部科学省「研究設備・機器の共用推進に向けたガイドライン（共用ガイドライン）」の趣旨を踏まえつつ、経営・財務、IR・共用システム、人材活用、地方・地域、データ分析の観点から広くボトムアップで議論・検討し、研究基盤の未来像を政策提言します。

実績：

【研究設備・機器の共用推進に向けたガイドラインへの貢献】 2021年度

本ガイドラインに関する現場（執行部、若手等を幅広いステークホルダー）の意見を広く集めたほか、5つの部会等活動による提言を実施。その策定に大きく貢献した。



【研究時間の確保・振興パッケージに関する政策の企画・立案への貢献】

2022年3月のガイドラインに関する報告から端を発し、内閣府CSTI有識者懇談会でヒアリングを受け現状を報告。研究時間の確保に関する政策の企画・立案に大きく貢献した。



【委員会の活動】 学術と人材育成

学術委員会

委員長 佐々木 隆太（北海道大学）
委員 境 健太郎（宮崎大学）

本委員会では、学術研究領域として新たに研究基盤における領域を形成し、学術交流の推進とネットワーク拡大を行ってまいります。

人材育成委員会

委員長 渡邊 政典（山口大学）
委員 浜 貴幸（金沢大学）
委員 堀 格郎（岡山大学）
委員 松見 吉朗（東京工業大学）

研究支援人材（技術職員）育成事業を通じて、

- ①研究基盤を最大限生かせる人財の育成
- ②研究支援人材の質の保証
- ③技術職員の活躍促進を目的とした活動

を行う委員会です。



【委員会の活動】 広報

広報委員会

委員長 植草 茂樹 (東京工業大学)
委員 岡 征子 (北海道大学)
事務局員 〇名

■ HPの管理運用



■ メールマガジン発信

- 研究基盤協議会イベント情報
- 会員機関からのイベント情報

■ 広報冊子 (ニュースレター) の作成配信



本号の内容：一般社団法人の立ち上げから現在、江端会長からのメッセージ、研究基盤 EXPO 会員大学・企業の紹介（金沢大学、名古屋工業大学、（株）島津製作所）

一般社団法人の立ち上げから現在まで

一般社団法人研究基盤協議会は令和5年1月に設立され、すでに様々な活動が始動しております。月2〜3回の理事会等で議論を行うほか、政策提言委員会においては小委員会ごとの活動を行っております。令和5年12月末現在、会員は会員入会数 18社、会員数 199名、賛助会員企業数 3社と広がり、徐々に会員数も増加しております。

会員大学：大阪大学、大阪公立大学、岡山大学、沖縄科学技術大学院大学、金沢大学、群馬大学、東海大学、東京医科歯科大学、東京工業大学、東北大学、鳥取大学、長岡技術科学大学、名古屋工業大学、広島大学、宮崎大学、山口大学、琉球大学、早稲田大学

江端会長からのメッセージ



皆さまにおかれましては、健やかに新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。能登半島地震で被災された皆様によりお見舞い申し上げますとともに、1日も早い復旧をお祈りいたします。

本協議会が設立され、約1年が経過します。立ち上げの期間ではありましたが、現段階で会員入会18社、賛助会員3社となり、多くの皆様にご参画いただき、感謝申し上げます。

本協議会は、一大学では到底クリアできない難題である研究基盤の司令塔となるコアファシリテートの構築と技術専門人材の養成、そして研究基盤共用化を推進するための「チーム共用」体制の構築等を行うことなどを目的として設立されました。本法人は、研究基盤に関する知見を我が国全体で蓄積・共有・展開するとともに、自立したサステナブルな研究基盤エコシステム構築への貢献していく所存です。引き続き、政府とも密に連携をとり、研究環境

【委員会の活動】研究基盤EXPOの企画・立案・運営

研究基盤EXPO2021 2021.1.22 - 29

研究基盤のための特別な一週間

主催：IRIS
共催：文部科学省
後援：東京工業大学

研究基盤EXPO 2021 タイムテーブル

該当するイベントをクリックすると詳細のページにジャンプします。

※本タイムテーブルは2021年1月15日現在であり、今後開催等が変更となる場合があります。



研究基盤EXPO2022 2022.1.26 - 28

研究基盤の新たな扉が開く3 days

主催：IRIS
共催：文部科学省、CORE
後援：金沢大学
一般社団法人日本分析機器工業会

2022年1月26日 令和3年度 先端研究基盤共用促進事業シンポジウム

主催：文部科学省
共催：IRIS、CORE

2022年1月27日 第1回 研究基盤協議会シンポジウム

主催：CORE
共催：IRIS、文部科学省
後援：金沢大学、JAIMA

2022年1月28日 第2回 研究基盤イノベーション分科会シンポジウム

主催：IRIS
共催：CORE、文部科学省

研究基盤EXPO2023 2023.1.25-27

共用と研究基盤の今！

主催：IRIS
共催：文部科学省、CORE
後援：山口大学
一般社団法人日本分析機器工業会

2023年1月25日 令和4年度 先端研究基盤共用促進事業シンポジウム

主催：文部科学省
共催：IRIS、CORE

2023年1月26日 第2回 研究基盤協議会シンポジウム

主催：CORE
共催：文部科学省、山口大学

2023年1月27日 東京工業大学オープンファシリティセンター TCカレッジシンポジウム

主催：東京工業大学
後援：CORE、IRIS

2023年1月27日 第3回 研究基盤イノベーション分科会シンポジウム

主催：IRIS
共催：JAIMA、文部科学省、CORE

研究基盤EXPO2024 2024.1.22-26

持続可能で強靱な社会の実現は研究基盤から！

主催：CORE
共催：文部科学省
協力：株式会社島津製作所、日本電子株式会社
株式会社日立ハイテク
後援：一般社団法人日本分析機器工業会

2024年1月22日 シンポジウム「チーム共有による技術職員組織構築の過去・現在・未来」

主催：岡山大学
共催：東京工業大学、山口大学、琉球大学、CORE

2024年1月23日 TCカレッジシンポジウム～TC取得者の活躍と出口戦略の展望～

主催：東京工業大学
共催：CORE

2024年1月23日 令和5年度 先端研究基盤共用促進事業シンポジウム

主催：文部科学省
共催：CORE

2024年1月24日 シンポジウム「私立大学の戦略的コアファシリティ2024」

主催：早稲田大学
共催：東京理科大学、東海大学、JAIMA、CORE

2024年1月25日 第3回 研究基盤協議会シンポジウム

主催：琉球大学
共催：CORE

2024年1月26日 研究基盤協議会共創の場委員会企画セッション

技術職員コンソーシアム企画
一技術職員が見える、技術力を若手ネットワーク企画
一ONE TEAM 若手が考える研！

主催：CORE

- ✓ 一社）研究基盤協議会（CORE）主催として初開催
- ✓ 年会と位置付ける
- ✓ 会員団体からの公募型企画
- ✓ EXPO実行委員会の運営

企画委員会

- 委員長 岡 征子 (北海道大学)
- 委員 林 史夫 (群馬大学)
- 委員 佐々木 隆太 (北海道大学)
- 委員 渡邊 政典 (山口大学)

2024.1.25 第3回 研究基盤協議会シンポジウム



第3回研究基盤協議会シンポジウム 第一部 研究基盤協議会 報告

活動報告

研究基盤協議会からの政策提言

長谷川 浩 理事・政策提言検討委員会 委員長

研究基盤に関する調査研究への協力

梶 飛雄真 理事・事務局担当

佐々木 隆太 理事・学術委員会 委員長

研究基盤協議会の目指す方向

江端 新吾 代表理事・会長

特別賛助会員 企業プレゼンテーション～最新技術情報と研究基盤戦略～

株式会社島津製作所 櫻井 久雄 産学官・プロジェクト推進室 シニアマネージャー

株式会社日立ハイテク 立花 繁明 コアテクノロジー&ソリューション事業統括本部
.Sシステム営業戦略本部 解析企画部 専門部長